

第4回福智町暴力等追放町民大会 平和で明るい町への願いを込めて

暴力のない明るい町づくりを目指した「福智町暴力等追放町民大会」が11月10日に金田分館で盛大に開かれました。会場には約250人が集い、暴力追放啓発ビデオを鑑賞したのち、「あらゆる暴力犯罪を断固追放しよう」などの決議文を採択。「暴力等に屈しない町民として頑張ろう」と、全員で力強くシュプレヒコールを上げ、暴力追放への気運を高めていました。



↑ 今年初めて行った、暴力のない明るい町づくりを町民に呼びかける暴追パレード。

↓ 土に溶けやすい素材でできた「エコ風船」を、秋空へと放った2・3年生38人。



田川人権擁護委員協議会主催「人権教室」 わたしたちの願い、遠くまで飛んでゆけ

今年度「人権の花運動」の指定校である上野小学校で、10月26日に人権教室が行われました。人権擁護委員の手作り紙芝居で人の尊厳について学習した後、子どもたちが栽培したひまわりの種と手書きの言葉を添えた「エコ風せん飛ばし」を実施。風船が見えなくなるまで手を振り続けた子どもたちは、その光景とともに人権の大切さを深く胸に刻んだことでしょう。

↓ 自分にあった逸品を求めて、感触を確かめながらじっくりと吟味する陶芸ファン。



第18回あがの焼秋の窯開き 陶郷上野のぬくもりに触れた3日間

「あがの焼秋の窯開き」が10月25日から3日間に渡って開かれました。会場となった上野焼陶芸館と上野焼協同組合13窯元には、秋の新作や掘り出し物を求めて約3千人が来場。会場では旬の食材や八女茶玉露を味わえる出店もあり、陶芸ファンたちは秋の味覚と400年以上の歴史を誇る上野焼の伝統美を肌で感じながら、秋の上野路を五感で楽しみました。

コスモスフェスタ2013 秋の福智を彩った満開のコスモス

10月27日に方城温泉ふじ湯の里付近の畑で福智町花いっぱい運動の会主催の「コスモスフェスタ2013」が開かれ、町内外から家族連れなど約500人が来場しました。今年も1畝の畑をピンクや白の花びらが埋めつくし、幼児たちが一面のコスモスの中でかくれんぼを楽しむ場面も。参加者は猪鍋などの郷土料理に舌鼓をうちながら、秋の絶景を満喫していました。



↑ 10年目の開催を祝うかのように、澄み渡った空の下で咲き乱れた今年のコスモス。

↓ 日頃の訓練の成果を発揮した消防団員たち。これからも地域防災の要としての活躍が期待されます。



第2回福智町消防団操法大会 迅速かつ正確な技術を披露

消防団員の消火技術向上が目的の「第2回福智町消防団操法大会」が10月27日、彦山川・中元寺川合流点河川敷で開催されました。競技には13の分団から5人ずつ選ばれた精鋭65人が出場。消防車から3本のホースをつなぎ、62メートル先の「火」と記された的に放水するまでの時間や消防器具操作の正確さなどを競い合いました。互いのプライドをかけて挑んだ選手たちは、指揮者の号令に従って息の合った連携を披露し、数秒を争う接戦を展開しました。【結果】優勝：第3分団(金田) 準優勝：第1分団(金田) 3位：第11分団(市場)

親子で楽しむ夕べ2013 親子で感動を共有した秋の夜

台風の影響で延期されていた「親子で楽しむ夕べ」が、11月10日に中央公民館で行われました。九州を中心に活動が続け、今年で40周年を迎えるプロの人形芝居「かすべる」が来町し、なじみの深い昔話「はなさかじいさん」を披露。舞台上で繰り広げられた感動的なストーリーと人形とは思えない動きに、参加した約200人の親子は目と心を奪われていました。



↑ 公演後には人形との握手会なども開かれ、参加者たちは秋の夜長を存分に満喫。

↓ 観光資源として広く周知されていないスポットも案内。(写真：鷹取城慰霊石塔)



福智町観光モニターツアー 魅力を重ねた4コースで特別な一日を

観光地としての成熟度を高めようと、農林水産省の助成を受けてモニターツアーを行っている福智町。そのツアーに磨きをかけるため、自然や伝統文化、癒やしをテーマにした町の魅力満載の4コースを企画。北九州市から観光客57人を招き、11月16日に2度目のツアーを実施しました。この日回収したアンケート結果を活用し、今後さらに充実したコース設定に取り組みます。